

平成18年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	医療・福祉分野へのIT技術の活用を促進する専門家(高度専門士)を育成する「ITライフサポート学科」の開発		
法人名	学校法人山口コア学園		
学校名	山口インフォメーション・カレッジ		
代表者	理事長 種村 良平	担当者 連絡先	藤本 幸英 TEL(083)932-0118

1. 事業の概要

社会の高齢化が進むなか、IT技術の医療・福祉分野への応用が期待されている。しかし、一般的には大学・専門学校では、情報・電子等の工学系と医学系にコースが大別されている。本事業では、IT技術・メカトロニクス技術の基礎を学ぶと同時にこれらの技術の医療・福祉分野への応用を学ぶ4年制(高度専門士)課程を開設することを目的にそれに必要なカリキュラムの検討、教材等の開発を行い、実証講座を実施した。また、研究成果を本校での展開と関連機関団体への普及を図る。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

(1)調査結果

IT技術の医療・福祉分野への応用が期待されるなか、医療機関等の現場でも、その養成が強く望まれていることが確認された。特に、医療情報システムへの対応だけではなく、最新の医療福祉機器は高機能化され、ロボット技術、医療画像処理技術等が応用されており、これらの技術に対応する技術者も養成が強く望まれている。

(2)教育プログラムの開発

高度専門士として必要な修業年数、総授業時間数及び体系的な教育課程であることを前提にカリキュラムを開発した。医療福祉の現場でのニーズにもとずき、特に工学系と医学系にまたがる領域のテーマを取り上げ、その実習用機材の開発、講義内容の開発を行った。

(3)実証講座の実施

テーマごとに、実習用機材・最新医療福祉機器等を使用した実習を行うことにより、受講生の学習意欲及び理解度に効果があった。

②事業により得られた成果

(1)高度専門士教育プログラム

高度専門士の教育課程としてのカリキュラム・シラバスの開発をした。
また、実習機材を取り入れた講座の研究開発を行った。

(2)実習機材の開発

山口大学大学院教授 江 鐘偉先生の指導により、医療福祉機器開発に必要なメカトロニクス教育用ロボットの開発を行い、完成品を教材として使用し実証講座を実施し効果をあげた。

③今後の活用

今回、開発したカリキュラム・シラバスを活用し「ライフサポート学科」の開設を推進したい。教育用ロボットは、既存のコースの教材としても活用を図りたい。

④次年度以降における課題・展開

(1)課題

本事業では、実証講座の講師を大学院教授、民間企業の技術者等をお願いしたが、本校の学科として開設する場合は、その常時の確保が必要である。

また、実習用の最新医療福祉機器も短期間の借用で対応したが、その長期間の確保に相応の投資が必要になる。

(2)展開

「ライフサポート学科」は、その就職先である医療・福祉機関では、開設を望む声強い、一方入学の対象となる高校生の志望先としては、未知の部分もあり、一層の魅力づくりが必要となる。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

医療・福祉分野へのIT技術の活用を促進する専門家(高度専門士)を育成するための基礎資料の整備とそのニーズ調査を目的として実態調査を行った。

調査の対象は、地域の医療機関、医療福祉機器開発メーカー、大学院・大学等を訪問し聞き取り調査を行った。調査項目はそれぞれで専門家に必要とされる知識・技術等について実施した。

調査結果としては、医療情報システムに対応できる専門家だけではなく、最新の高機能化された医療福祉機器の技術に対応できる専門家の養成にも強いニーズがあることが指摘された。

②カリキュラムの開発

高度専門士として必要な修業年限4年以上、総授業時間数3,400時間以上、及び体系的な教育課程であることを前提にしてカリキュラムの開発を行った。

技術教育分科会と高度専門士分科会が中心となり、カリキュラムとシラバスの検討を行った。特に調査時に指摘された、工学系と医学系にまたがる領域の技術への対応を行った。

③実証講座

実証講座は、特に工学系と医学系にまたがる領域の技術分野テーマを3テーマ選んで2ヶ月間実施した。受講者はIT系専門学校2年次終了レベル10名を対象とし本校で行った。実証講座には実習用機材・最新医療福祉機器を使用した実習を取り入れて行ったため、受講者は非常に興味深く取り組み学習意欲、及び理解度に効果があった。

④その他

実証講座に、本事業で研究開発した教育用ロボットを使用しその効果を実証した。また、工学系と医学系にまたがる領域の技術のテーマを実証講座で取り上げ、最新の医療福祉機器を用いた実習を取り入れ受講者の興味を強く引くことが出来た。